

Sustainability Study Tour

サステナビリティ視察ツアー in Zambia



アフリカで体験する
サステナビリティ

それは数億年をかけて生まれた
自然界のイノベーション

いのちのバトンがつくる
自然循環 (サーキュラー)

そして、それを守り抜くための
ソーシャルビジネス



Why now, Why Zambia

経済発展途上にあるザンビアには、電気の通らないエリアがまだ数多く存在します。人々の多くは最貧困レベルに当たる厳しい暮らしを送り、雇用機会、教育、インフラなど、ないものの方が多いかもしれません。

一方で、わたしたちの社会で失いかけている、豊かな自然、生物多様性、人のエネルギーがここには確かに存在します。

人類よりもはるかに長い歴史を持つ自然界のイノベーション、自然に寄り添う暮らしの中で育まれてきた人々の知恵には、現代のわたしたちが模索しているサステナビリティのヒントがあふれています。

生物多様性、脱炭素、サーキュラーエコノミーの実践者や課題解決型ビジネスのリーダー達、そして「サステナビリティxビジネスxアフリカ」の分野で長年の経験をもつ弊社が提供するリアル・サステナビリティのプログラムです。



ザンビア

サウス・ルアンゲワ

壮大な自然を五感で体験

エシカルガイドサファリ



サウス・ルアングワ国立公園は、アフリカでも最も生物多様性が豊かな国立公園の一つです。

その背景にあるのは、世界に先駆けて導入された”エシカルサファリ”という概念。

ここでは何よりも野生動物が優先されます。それは、私たちの生活は生態系の豊かさによって支えられているという絶対的価値観があるからです。

ありのままの命の循環が存在する場所で、既成概念を手放し、そのダイナミックさとエネルギーを五感で体験します。

Ethical Guide Safari

森を再生する

循環型ソーシャルビジネス

この村にはサーキュラーエコノミーを実装したフェアトレードのバナナペーパー工場があります。廃棄されていたオーガニックのバナナの茎の繊維を使って、越前和紙の技術とともに開発されました。

村に雇用を生むことで、貧困を解消。安定した収入を得たチームメンバーは、困窮によって野生動物の密猟や違法な森林伐採をするリスクが減り、結果として生物多様性が豊かになる、まさにリジェネラティブを実現しています。

ここでは、異文化を超えるチームビルディングや現地流マネジメントを体感。工場にあふれる誇りと熱気は、「足元にある価値を最大化する」ことこそが、アフリカと世界の未来を切り拓く可能性だと気づかせてくれます。



Social Business

余白に浸る贅沢な時間

アフリカ サンセット

陽が沈み、星が瞬き出すまでの、ほんの短い魔法の時間。
人工物の一切ない地平線いっぱいに広がる夕陽を浴びながら、
旅で得た感情やアイデアを静かに整理します。

日常から最も離れたこの場所で、地球のリズムと呼吸を合わせる、
静かなるクライマックス。
忙しい日常を忘れ、ただ目の前の美しさに身をおいて過ごしま
しょう。

African Sunset

参加者との出会い、共通体験

毎日のネットワーキング

このツアーにはさまざまな業種の人が集まります。

アフリカという、特別な場所で共に非日常を体験する。
立場や業種が違って、ツアーが終わる頃には仲間です。

プログラム中の交流や毎晩のディナーでは、さまざまなアイデアが
飛び交い、議論が起こります。

きっとここでしか生まれない、最高のネットワーキングです。

Networking



Special Experience 参加者特典

今回ご参加者の皆様へ、特典としてアフリカの伝統布「チテンゲ」を使ったオー
ダーメイドの服をプレゼント！

色鮮やかで様々な柄と表情を持つチテンゲから、スカートやショーツな
どを現地で仕立てます。

世界に一つだけの一着を身にまとう、ザンビアならではの特別な体験
です。



野生の世界を満喫する アフリカンデザインのロッジ

目の前に広がるのは、雄大なルアングワ川と、対岸の国立公園。
滞在するのは、大自然の特等席に位置するロッジです。

自然界の規律をベースにしたアフリカらしいデザインと、モダンな快適さが調和した空間は、
風と光を取り込み、外の世界とシームレスにつながる自然を感じることができます。

鳥や野生動物の鳴く声、カバやゾウたちの水浴び。
ロッジにしながら、ダイナミックな野生の営みを体感できます。
何もない場所に、「全てがある」ことを知る。豊かな滞在をお楽しみください。



Track & Trail River Camp

オランダ人のプロカメラマンのPeterと、ザンビア人で元モデル
のChichiが経営するロッジ、Track & Trail。

部屋にはPeterが撮影した野生動物の写真が飾られています。
Peterはエシカルサファリガイドの免許を持ち、プロカメラマン
専門のツアーをガイドすることも。

食事は、地元のシェフが新鮮な素材を使ってつくる洋食メニュー
です。夜はキャンプファイヤーを囲み、自然に思いを馳せます。



日にち	場所	Program プログラム内容
4月19日 (日)	日本→ザンビア (首都ルサカ) →エンフエ	各自にてザンビアへ 15:00 ザンビアの首都ルサカ空港 到着出口集合 夕方 サウスルアングワ国立公園のあるエンフエへ移動 (飛行機で約1時間) ●エンフエ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月20日 (月)	エンフエ	Welcome to Zambia! Safari モーニングサファリ アフリカの大自然といのちの循環を体感。動物の行動が活発な明け方から、オープンサファリカーで約4時間のサファリ。野生動物、ワイルドライフをはじめ、環境循環、生物多様性の価値、自然界のイノベーションなどについて紹介します。 Orientation オリエンテーション アフリカとザンビア、SDGs、サステナビリティについてオリエンテーション。参加者全員でこの旅に期待することを共有します。 Village Tour ビレッジツアー わら屋根や粘土でできた典型的なアフリカの村を訪問。村の人々の日常の暮らしを見学します。電気や水道のない生活、子どもたちの教育の現状などリアルな課題とこれからの可能性について考えます。 ●エンフエ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月21日 (火)	エンフエ	Banana Farm & Banana Paper Factory フェアトレードバナナペーパーの工場・農家訪問 フェアトレード紙バナナペーパーのグリーン工場を見学。ポジティブな結果を生み出す、ソーシャルビジネスの実態を紹介します。紙の原料であるバナナ繊維の抽出や手すきの紙づくり体験、バナナチームメンバーとの交流を行います。 Mindfulness Art Safari マインドフルネス アートサファリ体験 フェアトレード事業を展開する テキスタイル会社のショッパ訪問と「アートサファリ」と呼ばれるハンドペイント体験をします。滞在での体験を製作時間を通して整理しマインドフルな時間を過ごします。 Let's make your own African clothes! 自分だけの一着を アフリカで広く日常的に活用されているテキスタイル「チテング」。その独特な色合いや柄は、アフリカらしいエネルギーを感じます。このチテングで、自分だけの洋服をオーダーしましょう。 ●エンフエ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月22日 (水)	エンフエ	FULL DAY Safari サファリデー 野生動物の世界に1日中浸ります。時間を気にせず、自然の時間の速度に合わせて、野生界のありのままのシーンを見ることが出来るかもしれません。 ●エンフエ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月23日 (木)	エンフエ	Dialogue : Conservation & Social Business 野生動物保護とソーシャルビジネスダイアログ ビジネス×生物多様性についての学びとダイアログ。アフリカ大陸では生物多様性や野生動物(サイ、ライオン、ヒョウなど)が急速に減少しています。1980年代、最後のサイがサウスルアングワ国立公園から消えました。国立公園の野生動物の現状、絶滅危惧種と私たちのつながり、そしてその再生の取り組みと可能性について、現場の第一線で保護活動を行う専門家に話を伺います。また、この深刻な課題をジュエリーというポジティブな形で転換させたジュエリーブランドを訪問します。 FREE TIME 自由時間 アフリカの壮大な自然と穏やかな時間を満喫します。 ご希望の方は以下オプションも可能です。 オプション1 SCHOOL 小学校の訪問 オプション2 Village Shopping お土産ショッピング AFRICAN SUNSET アフリカの夕日 広大なルアングワ川で、水平線に落ちていく夕日を楽しみます。 ●エンフエ泊: 大自然に囲まれたロッジ
4月24日 (金)	エンフエ →首都ルサカ	首都ルサカへ移動 SUSTAINABLE DEVELOPMENT & JICA Visit 途上国の都市の発展とJICA訪問 首都ルサカの発展を見ながら、途上国の課題と可能性を体感します。JICAザンビア事務所では、国際協力という専門的な視点で日本とザンビアの関係やザンビアの可能性について理解を深めます。 WORKSHOP ワークショップ この旅での体験を振り返り、想いやアイデアを共有します。ソーシャルビジネスやパートナーシップの可能性などについて議論します。 ●首都ルサカ泊: アフリカデザインのホテル
4月25日 (土)	首都ルサカ →日本	ホテルチェックアウト後、解散。フライトに合わせてご帰国。

株式会社ワンプラネット・カフェ ● OnePlanetCafe

エクベリ聡子 Satoko Ekberg 日本出身。(株)ワンプラネット・カフェ代表取締役
サステナブルビジネスの開発支援、人材育成、ビジネスを通じた途上国の課題を解決するソーシャルビ
ジネス開発に長年従事。日本・スウェーデン・ザンビアでの事業経験を踏まえ、SDGs、サステナビ
リティの事業支援、研修、視察ツアー企画・運営を行う。07年にザンビアで「One Planet Café ザ
ンビア」を設立。バナナペーパー事業では、クラウドファンディングの資金集めから、JICAや日
本大使館のファンドまで幅広い支援を得ながら、現地に環境&コミュニティ共生型グリーン工
場を建設。



One Planet Café ザンビア共同設立者、ワンプラネット・ペーパー協議会副会長(13-'22)、金沢
大学エグゼクティブ・コーディネーター(22.11-)、武蔵野大学非常勤講師(23.04-)、東北大学大
学環境科学研究科非常勤講師(05-'15)、株式会社イースクエア取締役(02年-'15年)。著書：「う
ちエコ入門」(共著、宝島社)、「地球が教える奇跡の技術」(石田秀輝著、執筆協力)、エシ
カル白書2022-2023(一般社団法人エシカル協会著、執筆協力)

Peo Ekberg ペオ・エクベリ スウェーデン出身、(株)ワンプラネット・カフェ共同創業者
サステナビリティ・プロデューサー。NGO環境団体のリーダー、ジャーナリストを経て、現職。サ
ステナビリティ関連の視察ツアー企画・運営では、20年を超える実績をもつ。SDGs、サステナ
ビリティに関する講演、テレビやラジオの環境番組でコメンテーターなどを行う。'08年、イ
ギリスBBCのWebページHeroで、アル・ゴア元アメリカ副大統領らと並び環境リーダーの一
人として紹介される。

'11年One Planet Caféザンビアのチームと共にバナナペーパープロジェクトをスタート。アフ
リカのバナナ繊維と日本の和紙技術との融合により、日本初のフェアトレード認証紙・クラ
イメートポジティブ紙のバナナペーパーを開発。武蔵野大学非常勤講師(5年間)。ワンプラネッ
ト・ペーパー協議会会長(13-'22)。15才と19才の時にサッカーのリフティングで世界記録を更
新。著書：エコライフのガイドブック「うちエコ入門」('07年、宝島社、第3版)。



永江早紀 Saki Nagae 日本出身。広報・企画担当

長崎大学多文化社会学部卒。学生時代はナガサキ・ユース代表団として、ジュネーブ国連事
務局、ニューヨーク国連本部で行われたNPT(核不拡散条約)再検討会議準備委員会への
派遣や、全国での平和出前講座など、核兵器廃絶運動に注力。また、ハワイのパールハー
バーヒストリックサイトで平和教育インターンを経験。日米の歴史認識について学ぶ。カ
ナダでの留学経験あり。全世界で気候変動活動を行う若者団体、Fridays For Futureの一員
として福岡で活動。100人以上の気候変動マーチなどを開催する。

2020年からOne Planet Caféの広報および企画を担当。スウェーデン・ザンビアでの視察ツ
アーの数々にアattendしている。



Our Services ワンプラネット・カフェの3つの事業

「ビジネスの力でサステナビリティを具現化する」
をミッションに事業を展開。企業のサステナビ
リティ実装をサポートをしています。

2016年からフェアトレード認証を取得。



講演・ワークショップ 視察ツアー バナナペーパー



【旅行手配】

さっぽろトラベル 担当：森本恵美

〒062-0020 北海道札幌市豊平区月寒中央通2丁目3-1第二北陽ビル1階

TEL: 011-858-9501 e-mail: morimoto@manzokutabi.jp

【お問合せ窓口】視察プログラム企画・運営

株式会社ワンプラネット・カフェ 担当：永江早紀

〒107-0051 東京都港区元赤坂1丁目7番地18 元赤坂イースト1階 WHCH

TOKYOBASE

TEL: 03-5776-6228 e-mail: hello@oneplanetcafe.com